



社会福祉法人あだち福祉会

京都子ども宅食プロジェクト 2020年度 報告書



2020



作成 京都子ども宅食プロジェクト事務局
発行 2021年 6月

(1) 代表メッセージ	P. 2
(2) 事業概要	P. 3
(3) こども宅食とは	P. 3
(4) 2020年度実績報告	P. 4
(5) アンケート調査の結果報告	P. 5 ~ P. 6
(6) ご利用者さんの声・感想	P. 7
(7) 2020年度決算報告	P. 8
(8) 2021年度予算報告	P. 8
(9) 2021年度事業計画	P. 9
(10) 今後の課題	P. 10
(11) ご協力いただいている皆様	P. 11

代表・副代表メッセージ



畑山 博 (はたやま ひろし)
 京都こども宅食プロジェクト 代表
 社会福祉法人あだち福祉会 理事長
 医療法人財団足立病院 理事長

京都こども宅食プロジェクトを開始して1年半になります。
 東京都文京区でフローレンスが始めたアウトリーチ型の子育て支援である「こども宅食」の取り組みを聞いて、是非京都でもやりたい！がきっかけでした。始める前に最も心配したのは、東京と違い人も金も十分でない京都でこれが成功するのか？多くの賛同者が集まるのか？また、長く続けることが出来るのか？でした。でも、やってみて良く分かったのですが、京都人は、イメージとずいぶん違いますね。どちらかということ、衣食住全てにわたって、自分たちの世界で完結して、ほかの地域の住民とは付き合わないのが京都人だと思っていましたが（高知県人から見た京都人への偏見）、予想以上にボランティアが集まり、想定を超えて寄付が集まり、多くの方が地元でもやれないか工夫をしてくれるのには、驚かされます。

コロナで日本中、世界中が大変な時です。特に観光への依存度が高い京都は、本当に大変です。自分たちがこんなに大変な時に、もっと大変な子供達とその家庭を支援したいという京都の方たちに感謝すると同時に、少しでも沢山の子供たちに、食料を皆様の思いを届けていきたいと考えております。今後ともご支援ください。

京都こども宅食は、皆様からの多大なるご支援をいただき2つの年度を終えることができました。まずは関係をいただいたすべてのの方々に衷心より感謝申し上げます。京都こども宅食がスタートして1年半ですが、私が最初に京都でやりたいと決意したのは2017年でした。

東京都文京区で全国初の取り組みがスタートする少し前。そこから、少しずつ周りの人に相談し仲間になってもらい、行政に声をかけ、実施方法を検討し、地域のみなさんのご協力をいただくために会議を重ね、寄付金を集め、物資を集め、配送方法を検討し、物資の保管場所を確保し・・・と最初の宅食を実施するまで3年弱かかりました。その間、ご協力に感謝し、時に憤り、紆余曲折がありました。しかし、1回目90世帯余りのご家庭に宅食を実施し、私自身もお届けにಾಗಿ、みなさんの反応を見て、アンケートの結果を見たときに、これまでの全てが吹き飛びました。「こども宅食は今の世の中に必要だ。少しでもお役に立てるなら自分たちの地元である京都でこの活動を少しずつでも拡げていきたい。」と思いました。こども宅食は貧困家庭の見守りに有効な手立てであるということは、証明されつつあります。ただ私たちは仲間とともに毎回「もっと良い方法はないのか？みなさんのニーズはどこにあるのか？」と試行錯誤しながら活動を行っています。「これでよし！」という形はずっと見えないのではないかと思います。私はこの「こども宅食」という取り組みを全国で調査し、今後、国の政策として実施できないかと考え、今年4月から大学院で政策提言論文を書くため学んでいます。21年間勤めた会社も辞めました。勉強嫌いの私が40代半ばになって学ぶことになるとは全く想像していませんでしたが、しっかり学び、その成果を活動に活かしていきたいと思っています。まだまだ未熟な組織ですが、今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



竹内 弘一 (たけうち こういち)
 京都こども宅食プロジェクト 副代表
 元KBS京都アナウンサー

事業概要

京都こども宅食プロジェクトは、『一般社団法人こども宅食応援団』・『京都市』・『社会福祉法人あだち福祉会』の三者協定により、2019年12月に発足したプロジェクトです。協定締結の後、2019年度には京都市伏見区の一部地域にて合計2回のトライアル配送を実施し、延べ217世帯のご家庭にこども宅食をお届けしました。その後、ご利用家庭へのアンケート調査等を実施し、2020年度より本格実施を開始しています。支援の対象は、小学生のお子さんがある家庭で、かつ就学援助制度等の支援を受けている家庭と定めていますが、子どもの貧困問題は目に見えないケースが多いため（日本のように相対的貧困の場合）、柔軟な対応を大切にしています。当プロジェクトは、地域の企業や団体、商店街、農家等からの寄付金や寄付物品を元に実施しており、地域全体でその地域の未来を育てる取り組みとなっています。全国ではこども宅食応援団のもと、様々なこども宅食活動が行われていますが、京都市での実施は政令指定都市としては初であり、今後の展開拡大において大きな役割を担っています。



京都こども宅食プロジェクト



一般社団法人こども宅食応援団代表理事の駒崎 弘樹氏（写真左）と京都市長の門川 大作氏（写真右）、社会福祉法人あだち福祉会理事長の畑山 博（写真中央）による京都こども宅食プロジェクトに係る三者協定締結式の様子

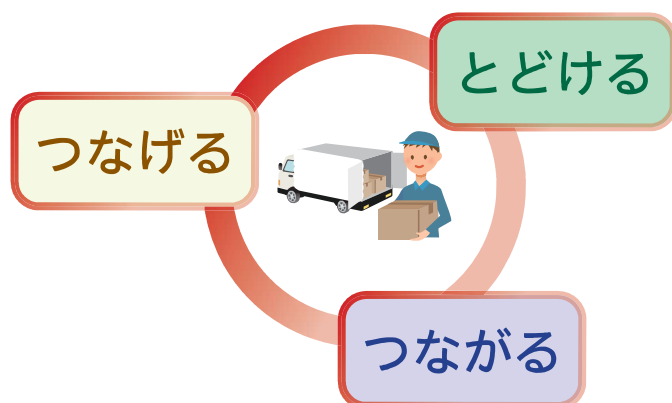
こども宅食とは

こども宅食は、生活の厳しいご家庭に、定期的に食品を『届ける』取り組みです。食品を『届ける』ことにより、そこから『繋がり』を作り、各ご家庭を見守りながら、必要に応じて様々な支援に『繋げる』ことを目指しています。

昨今の新型コロナウイルス感染症（COVID 19）の影響で、これまで地域で子どもたちの食事支援等を行ってきた『子ども食堂』の実施が困難になっています。そこで注目されるようになった取り組みが、この『こども宅食』でした。

こども宅食は、アウトリーチの宅配という手段を用いて、食料品や日用品等を対象の方々に届けると同時に、各家庭の困りごとや悩みごとをいち早く見つけ出し、適切な機関や団体に繋げる役割を担っています。

配送時の対象者との会話はもちろんのこと、当事業では常にLINEを通じて対象者と繋がりを持つことができるため、何か困りごとや悩みごとが生じた際には、すぐに相談できる環境が整っていることも大きな特徴と言えます。



展開経緯

2019年度に実施しました2回のトライアル配送結果を受け、2020年度より当プロジェクトの本格配送を開始しました。当初は、トライアル配送と同様に伏見区の一部地域のみでの実施に留まっていたましたが、10月より支援対象地域を拡大し、中京区全域においても同様に開始しました。その後、各地域2ヶ月おきに子ども宅食の配送を行い、各家庭の見守り活動を実施すると同時に、LINE等のツールを用いて、常にご利用者さんとの関係性構築に努めています。



配送と結果



伏見区 配送	第1回新型コロナ緊急配送 ・ 配送世帯数：133世帯 ・ 配送期間：2020年5月25日～31日 ・ 実施方法：梱包等をイオン様に委託し、配送をココネット様に委託	第2回新型コロナ緊急配送 ・ 配送世帯数：135世帯 ・ 配送期間：2020年6月15日～21日 ・ 実施方法：梱包等をイオン様に委託し、配送をココネット様に委託	第1回本格配送 ・ 配送世帯数：135世帯 ・ 配送期間：2020年8月17日～23日 ・ 実施方法：梱包等をイオン様に委託し、配送をココネット様に委託	
	第2回本格配送 ・ 配送世帯数：139世帯 ・ 配送期間：2020年11月16日～22日 ・ 実施方法：ボランティアさんにより梱包、配送をココネット様に委託	第3回本格配送 ・ 配送世帯数：139世帯 ・ 配送期間：2021年1月25日～31日 ・ 実施方法：梱包等をイオン様に委託し、配送をココネット様に委託	第4回本格配送 ・ 配送世帯数：140世帯 ・ 配送期間：2021年3月22日～28日 ・ 実施方法：ボランティアさんにより梱包、配送をココネット様に委託	
	中京区 配送	第1回本格配送 ・ 配送世帯数：184世帯 ・ 配送期間：2020年10月19日～25日 ・ 実施方法：ボランティアさんにより梱包、配送をココネット様に委託	第2回本格配送 ・ 配送世帯数：182世帯 ・ 配送期間：2020年12月14日～20日 ・ 実施方法：梱包等をイオン様に委託し、配送をココネット様に委託	第3回本格配送 ・ 配送世帯数：182世帯 ・ 配送期間：2021年2月22日～28日 ・ 実施方法：梱包等をイオン様に委託し、配送をココネット様に委託

配送品内容

- 主食用食品
お米、玄米、そば、うどん、そうめん、パスタ
- レトルト食品
カレー、牛丼、親子丼、麻婆丼
- インスタント食品
ラーメン、焼きそば
- 調味料
醤油、塩、砂糖、コンソメ、合わせ調味料
- 缶詰
シーチキン、さばの水煮
- 飲料
野菜ジュース、ジュース、きな粉珈琲
- お菓子類
スナック菓子、ケーキ、京都の銘菓
- 日用品
子ども用マスク、消毒用アルコール、洗剤
- 文房具類
鉛筆、消しゴム、ノート



※ これらは配送品の一例になります。
他にも様々な食料品や日用品をお届けしています。

その他

2020年度末には、一般社団法人子ども宅食応援団が主体となって全国規模でのご利用者さん向けアンケート調査が実施されました。各家庭の現状や子ども宅食事業を通じて得られた変化等のデータを取得しましたので、6ページ及び7ページにそのアンケート調査の集計結果（一部）を掲載します。

年度末アンケート調査 集計結果

調査対象：当プロジェクト利用者

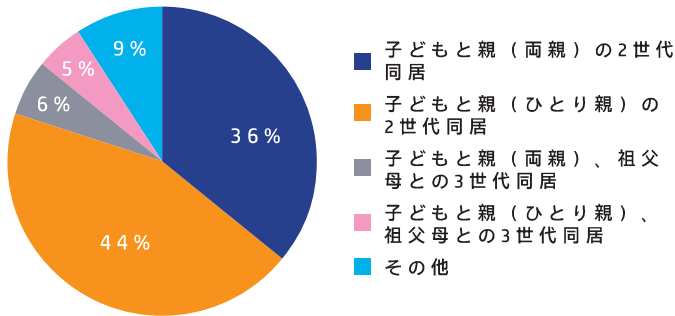
調査対象数：322世帯

回答数：136件

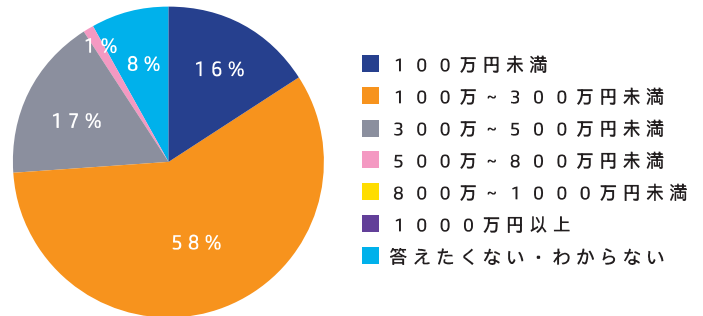
回答率：42.24%

基礎情報

世帯構成

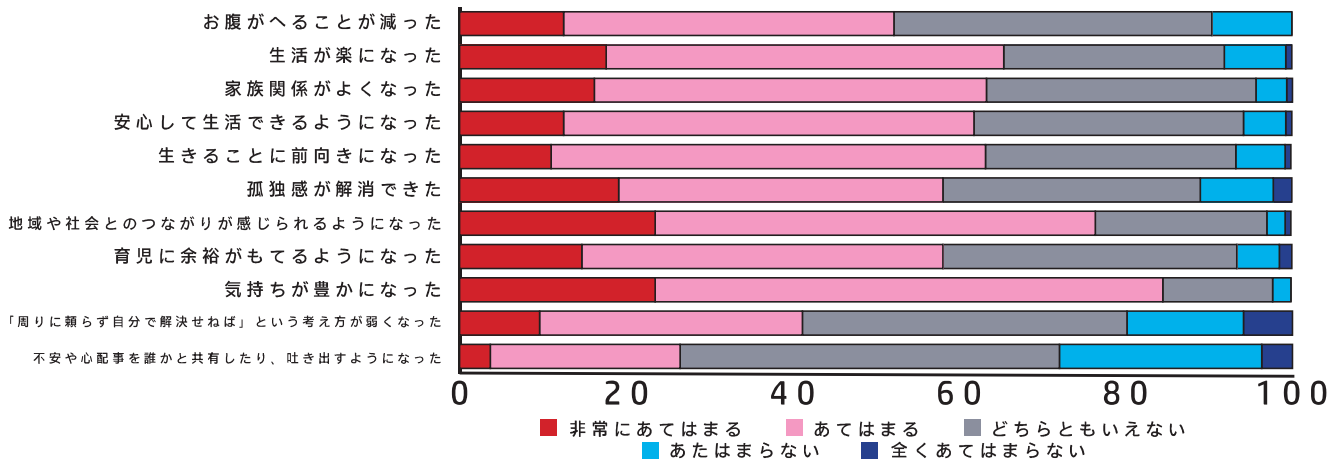


世帯年収

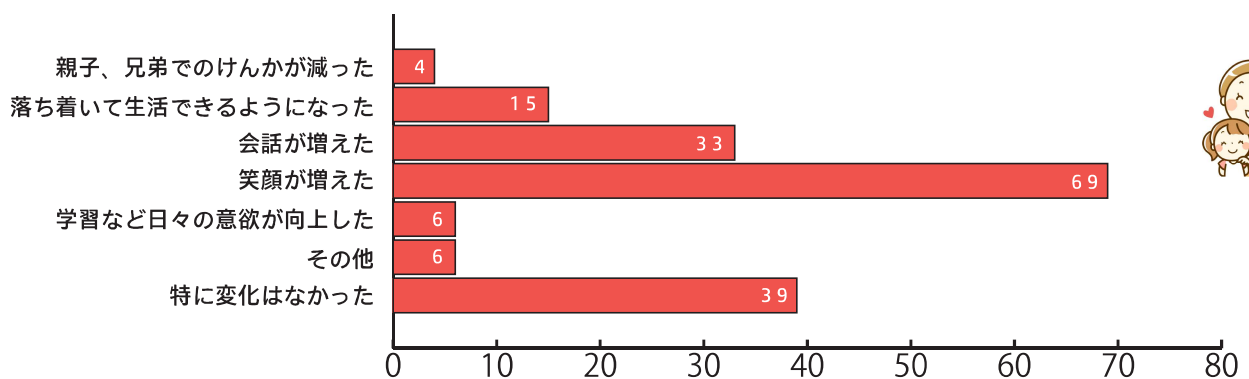


ご利用者さんの現状

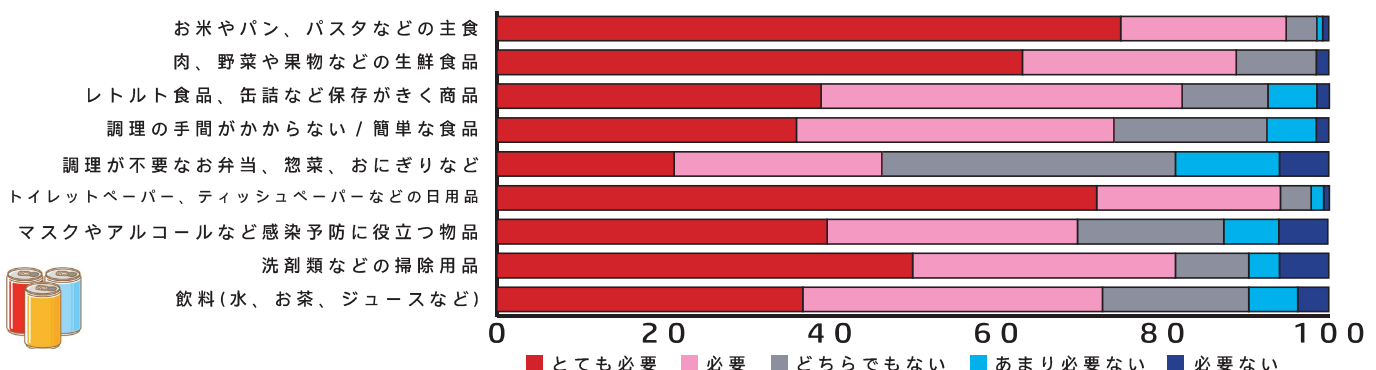
こども宅食の利用で生まれた変化



お子さんの態度の変化



食品や日用品等のニーズ



		自治体の窓口での相談				
		現在利用している	過去に利用したことがあるが、今は利用していない	利用してみたいと思っているが、利用したことはない	利用したくない、利用する予定はない	地域にあるのかどうかを知らない、内容がよくわからない
行政などの支援や手当を受けていることを他人に知られたくない	とてもあてはまる	4 2.94%	7 5.15%	4 2.94%	3 2.21%	5 3.68%
	あてはまる	5 3.68%	12 8.82%	5 3.68%	9 6.62%	10 7.35%
	どちらともいえない	2 1.47%	8 5.88%	13 9.56%	6 4.41%	10 7.35%
	あてはまらない	2 1.47%	3 2.21%	6 4.41%	6 4.41%	4 2.94%
	全くあてはまらない	1 0.74%	1 0.74%	3 2.21%	3 2.21%	4 2.94%
困ったとき、悩んでいるときの相談相手や場所がわからない	とてもあてはまる	1 0.74%	1 0.74%	4 2.94%	1 0.74%	3 2.21%
	あてはまる	2 1.47%	9 6.62%	10 7.35%	8 5.88%	13 9.56%
	どちらともいえない	6 4.41%	14 10.29%	7 5.15%	9 6.62%	8 5.88%
	あてはまらない	3 2.21%	7 5.15%	9 6.62%	9 6.62%	5 3.68%
	全くあてはまらない	2 1.47%	0 0.00%	1 0.74%	0 0.00%	4 2.94%

* 上段⇒件数(単位:人)、下段⇒割合(単位:%)

		地域の子ども食堂				
		現在利用している	過去に利用したことがあるが、今は利用していない	利用してみたいと思っているが、利用したことはない	利用したくない、利用する予定はない	地域にあるのかどうかを知らない、内容がよくわからない
行政などの支援や手当を受けていることを他人に知られたくない	とてもあてはまる	0 0.00%	2 1.47%	6 4.41%	4 2.94%	11 8.09%
	あてはまる	3 2.21%	1 0.74%	14 10.29%	5 3.68%	18 13.24%
	どちらともいえない	1 0.74%	2 1.47%	11 8.09%	8 5.88%	17 12.50%
	あてはまらない	3 2.21%	2 1.47%	6 4.41%	4 2.94%	6 4.41%
	全くあてはまらない	1 0.74%	0 0.00%	2 1.47%	3 2.21%	6 4.41%
困ったとき、悩んでいるときの相談相手や場所がわからない	とてもあてはまる	0 0.00%	1 0.74%	5 3.6%	1 0.74%	3 2.21%
	あてはまる	1 0.74%	0 0.00%	10 7.35%	6 4.41%	25 18.38%
	どちらともいえない	5 3.68%	4 2.94%	12 8.82%	7 5.15%	16 11.76%
	あてはまらない	2 1.47%	2 1.47%	12 8.82%	7 5.15%	10 7.35%
	全くあてはまらない	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	3 2.21%	4 2.94%

* 上段⇒件数(単位:人)、下段⇒割合(単位:%)



: 全体に対する割合が、8.00%以上のもの



: 全体に対する割合が、5.00%以上8.00%未満のもの

ご利用者さんの困りごと

- 親の介護やコロナで憂鬱である。
- 自分自身の健康問題が不安である。
- 子どもを高校や大学に行かせてあげられるか？心配である。
- 子育てには正解がないことをわかっていてもこれでいいのかと悩む。
- 夫が病気で今は無職。これから先仕事に就けるのか、子どもの学費等を払っていけるのか、心配である。
- 将来のことや子どもの学習、コロナ消毒による子どもの皮膚疾患が心配である。
- コロナ禍による影響で転職することになり、収入が一気に減ったことで将来が不安である。
- 子育てや介護の悩みが尽きない。
- 不払いの養育費を請求したいが、時間に余裕がない。
- 子どもが最近よく食べるため、食費が去年の倍になったこと。

等

ご利用者さんの声・感想



いつも沢山生活必需品を送っていただきありがとうございます。子ども達は色々なものが沢山届くので、何が入っているのか開けるのをいつも楽しみにしています。



いただきましたお返事を読んで、とっても嬉しく優しいお言葉に涙が滲みます！いつも感謝しかないです。本当にありがとうございます(^^)

クリスマスにお化粧品を送ってもらえたこと、子どもたちへのメッセージカードや手作りおもちゃをいただけただことにとっても嬉しく思いました。ありがとうございました。

普段、買わないお菓子や食材などを届けていただき、子どもも私も楽しみにしています。初めて食べるお菓子の感想を子ども達と話したり、白砂糖をいただいた事をきっかけに一緒にケーキを焼いたり、成長期の子ども達にとって食事の大切さを考える機会になっています。

いつも自宅まで届けてくださり時にはメッセージまで頂き有難うございます。いつも沢山の援助を貰い子ども達と共にありがたく使わせて頂いています。辛い時もあります誰かが見ていてくれると言う安心感で頑張ろうと思います。

手作りのおもちゃや歯ブラシセットなど、子どもたちに向けての贈り物には特に良い反応をしてくれます。常に困り事はないかなど、気にかけていただいていることも、安心できてありがたいです。いつも支えていただき、ありがとうございます。



配達員の人とも話したり、こうやってLINEしてくれはったりして、一人で子育てしてるわけじゃないんだ、って思えるようになりました。助けてもらえる、っていう心のゆとりというか、そういうのが芽生えてきました。

買い物で迷ったときは、実施団体の企業の商品を買っています。微々たるものではありませんが、感謝の気持ちです。いつもありがとうございます。

LINEでのフレンドリーで優しい言葉のやり取りや、宅配してくださる方の思いやりのある受け答えに力づけられます。ずっと他に頼らずやってきたのですが、利用させていただくようになり、もっと早く頼れば良かったと思っています。いつもありがとうございます。



本日、素敵な素敵なお届け物とどきました。素敵なお品物だらけで、その中でも特に驚いたのが、本が入っていたことです！すごいです(^^) 子ども達と、わあ！といいながら一つ一つ楽しみながら見せていただきました。また、明日からも頑張れます！



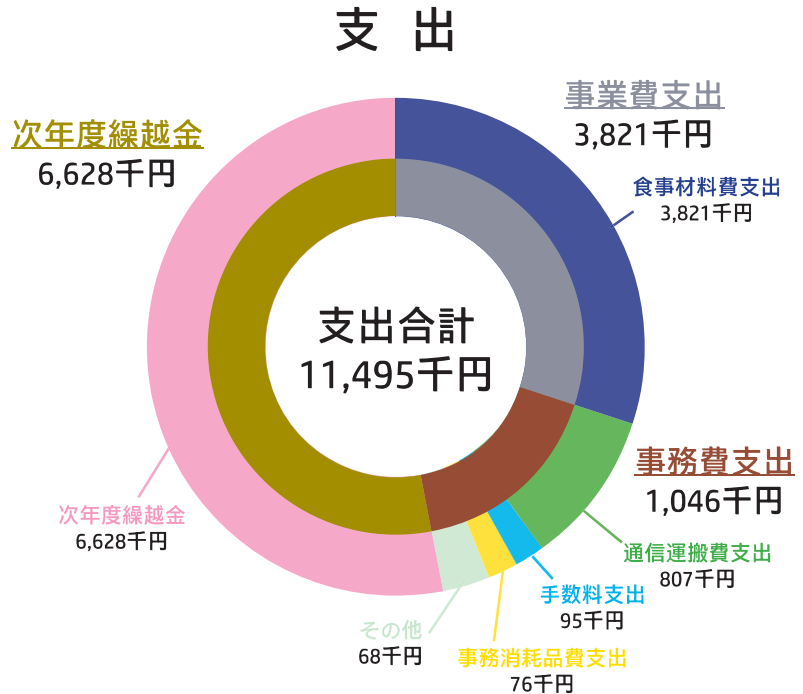
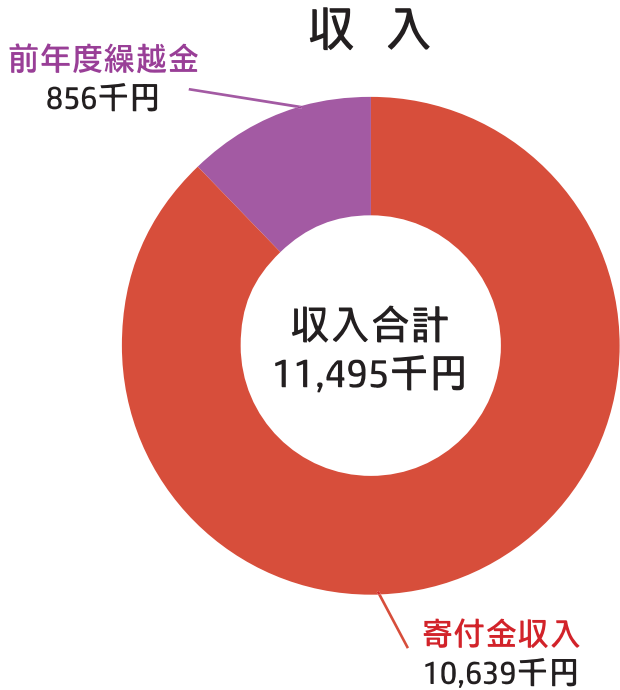
いつも、本当にありがとうございます！こども宅食の配送を子どもが楽しみにしています。私もとても助かっています。本当にありがとうございます！

本当に大変助かっております。ありがとうございます。ここでの御恩を、いつかどこかで困っている人に返せたら...と思っています。



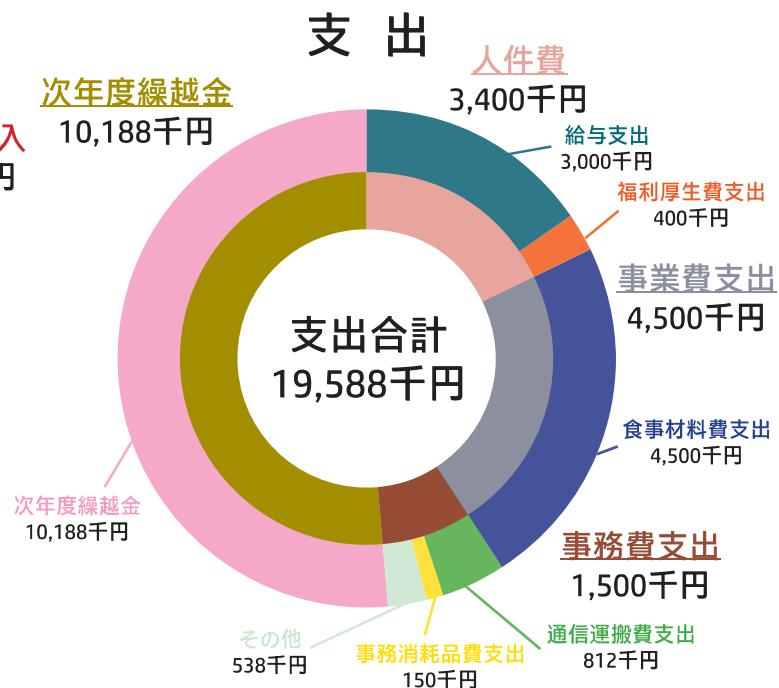
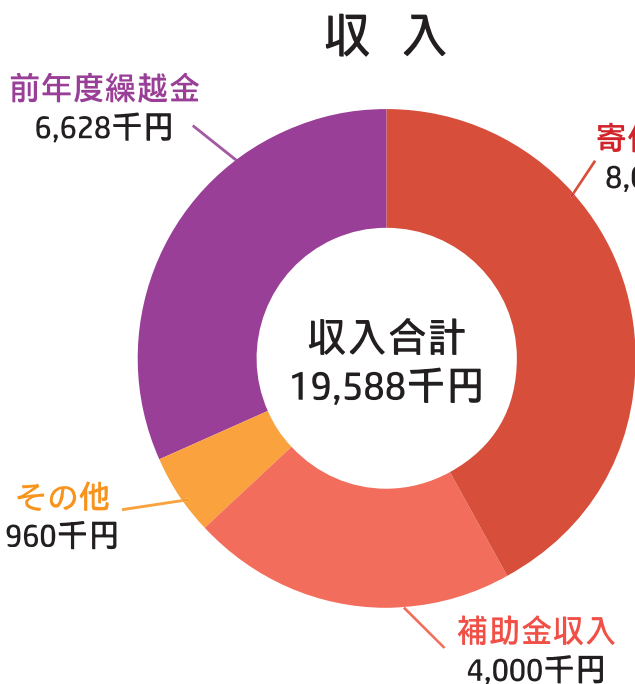
2020年度決算報告

2020年度の決算は、以下のようになりました。収入面では、寄付金収入が大部分を占めており、ご支援・ご協力いただいております皆様への感謝の思いでいっぱいです。一方、支出面では、事業費支出と事務費支出の合計額が支出全体の約43%となり、残りの約57%は次年度への繰越金となりました。昨年度の繰越金がこのように大きな割合を占めていることに関しては、次の2点が要因として挙げられます。1点目は、昨年度内は専任の事務局員を確保しておらず、人件費を事業内で拠出する必要がなかったことです。系列法人内の職員が、業務を兼務していたため、人件費は系列法人内からの拠出となっておりました。次に2点目は、今後の支援対象地域拡大や国庫からの補助金額減少等の影響を考慮し、そのような事態に備えるために、内部留保が必須であると判断したことです。



2021年度予算報告

2021年度の予算は、以下のようになります。収入面では、昨年度同様の寄付金収入に加えて、京都市支援対象児童等見守り強化事業補助金による補助金収入が加算されており、これら2つの合計額が収入全体の約61%を占めています。一方、支出面では、正式な事務局の設置に伴う人件費が追加されています。昨年度より大きな変化はありませんが、今年度には支援対象地域を拡大する計画があるため、その点での支出額が増加し、次年度繰越金額を減少させる可能性があります。無駄のない支出を実現し、当プロジェクトが中長期的に継続できるように、昨年度同様に次年度繰越金を確保しています。

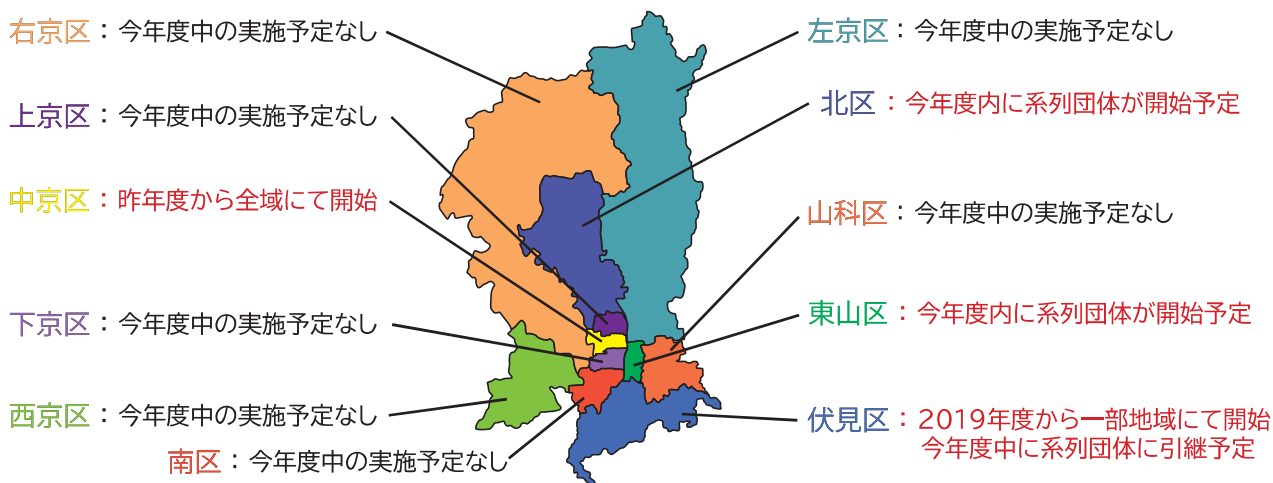


2021年度事業計画

重点目標

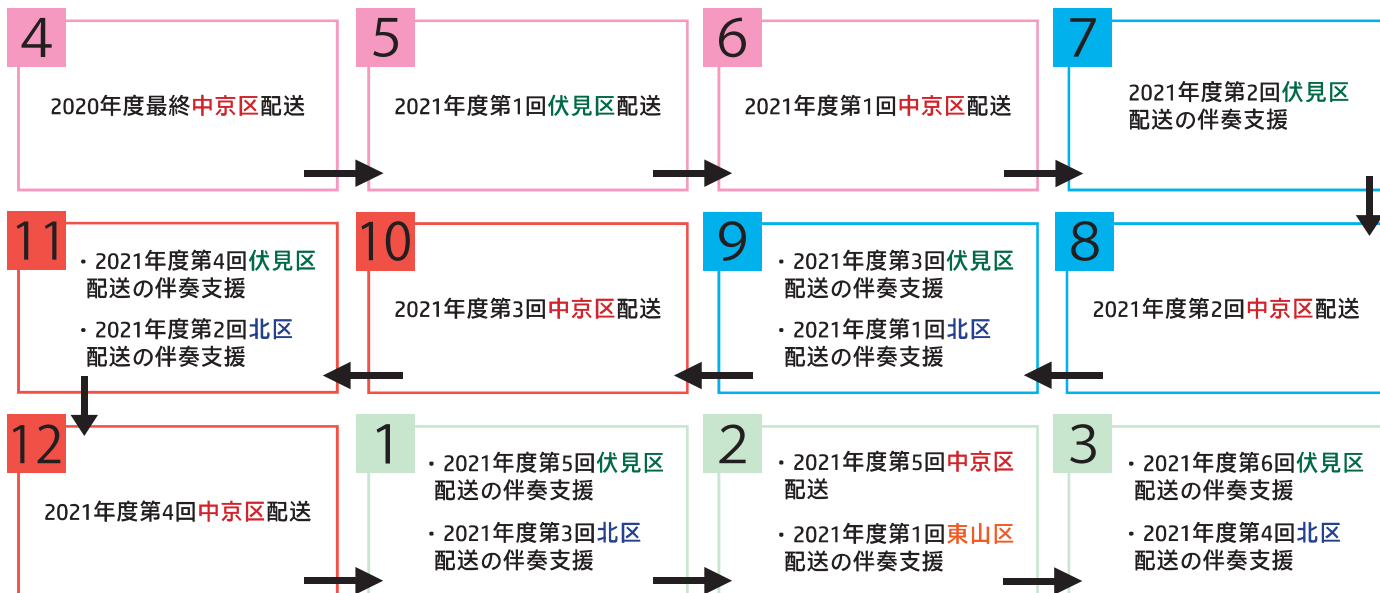
- (1) 運営体制の強化
- (2) こども宅食配送や見守りの充実
- (3) 新規企画の作成と実施
- (4) 支援対象地域の拡大
- (5) 寄付金・寄付物品の更なる獲得
- (6) 人材の育成

事業展開計画



※ただし、当プロジェクトではなく、他団体により類似事業が進められている地域もございます。

配送スケジュール



その他企画

昨年度までは、アウトリーチ型のこども宅食という方法にて、ご利用者さんの見守り活動を行ってまいりました。今年度はそれに加えて、プライバシーの保護等には十分注意をした上で、ご利用者さんにある場所まで出向いてもらい、そこで直接専門家による悩み相談や健康チェック等を行うといった新たな取り組みにも挑戦したいと企画しています。これにより、今後更に充実した見守り活動を行うことができるようになると思われれます。

今後の課題とアクション計画

課題① 事務局の機能充実

当プロジェクトの活動が開始し、既に1年以上が経過しているが、形式的な事務局のみの設置に留まっている。

また、人員面でも兼任の事務局員の確保しかできておらず、早急に事務局環境を改善する必要がある。



2021年度より、あだちほいくえんの3階に『京都こども宅食プロジェクト事務局』を正式に設置し、常時事務局員が使用できるように整備する。

また、2020年度には兼任人員のみであったが、2021年度より専任の事務局員を1名確保することで、業務時間内においてはこども宅食業務に専念することができる環境を整える。

課題② 支援対象地域の拡大

京都市にある全11行政区の中で、現在当プロジェクトが支援対象としている地域は、中京区全域と伏見区の一部地域のみ留まっている。

今後更なる支援地域拡大を実施し、一人でも多くの支援を必要としている子どもやその家庭に手を差し伸べる必要がある。



2021年度には、適宜以下の順序で支援対象地域を拡大する予定である。ただし、当プロジェクト事務局にて全区の事業を担うのではなく、各区にその区を担当する事務局を設置し、それらの各事務局と協力の上、支援対象地域を拡大するという方法を採用する。

【拡大順序】 北区 ⇒ 東山区 ⇒ 山科区



課題③ 見守り実施の充実

現在の支援対象者への見守り作業は、こども宅食配送時の配送員による見守りとLINEによる適宜見守り等である。各家庭のSOSにいち早く気付くためには、更なる見守りシステムの充実が必須であると同時に、新たな企画等により、多様な見守り機会を確保する必要がある。



こども宅食配送時の配送員による見守りにおいて、その見守り内容に気になる点が存在していた際には、その点を強調して可視化できるような仕組みの構築を行い、以前よりも早急に各家庭のSOSに気付くことができるようにする。

また、これまで同様にLINEを通じた各利用者さんとのやり取りによる関係性構築を大切にすると同時に、新たな企画との併用で、より効果的な見守りを実施する。



課題④ 保管場所の確保

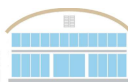
こども宅食の実施においては、梱包前の配送商品の保管場所や梱包後の配送品の保管場所、梱包作業場所等が必要となりますが、現在はその固定場所を確保できておらず、継続的な事業実施の観点から考えると、固定場所の整備が急務となります。



梱包商品の保管場所や梱包後の配送品の保管場所に関しては、各所に協力依頼を行い、年度内には固定の場所を確保するように努める。

また、梱包作業場所は、中京区においては固定化できているため、他地域での調整を適宜行っていく。

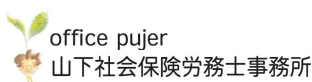
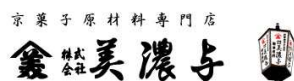
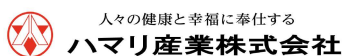
(こちらの報告書をご覧になり、各種場所の提供を検討いただける方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。)



ご協力いただいている皆様

企業・団体の皆様

※ 順不同



※ ロゴの使用許可をいただいている企業・団体様のみロゴを掲載

(株)ツー・ナイン・ジャパン、(株)タガヤ、清水寺、(株)リーフ・パブリケーション、ナウウェル・アカデミー、足立乳腺クリニック、(株)アップデート、(有)メディカルサポート、(株)NEST、(株)増田医科器械、(株)伊藤園、伊達農園、アンダーグラフ、(株)京都パープルサンガ、サンスター(株)、認定NPO法人フローレンス、森永製菓(株)、カゴメ(株)、(株)ロマンライフ、(株)ケイジバック、WeBase 京都、(株)ローソン、日本即席食品工業協会、日本ロレアル(株)、KDDI(株)、LION(株)、(一社)自然栽培協会、平和製菓(株)、(株)聖護院八ッ橋総本店、天狗製菓(株)、(株)鈴木本店、(福)愛誠会、(株)ガル、(株)アイセイ薬局、いわいレディースクリニック、(株)麒麟ビバレッジ、(株)京都酒販、(株)京都放送、高宮農園、日東薬品工業(株)、ネスレ日本(株)、(株)フクダ、伏見大手筋商店街振興組合、山田ファーム、レゴジャパン(株)、京都ロータリークラブ、石清水八幡宮、花山和士税理士事務所、IKEUCHI ORGANIC(株) 他多数

(敬称略)

個人の皆様

※ 順不同

伊藤 久美 様	伊吹 勇亮 様	川崎 太郎 様	古家野 彰平 様	山下 翔 様
吉澤 康雄 様	松田 義和 様	松山 睦子 様	淵上 ゆかり 様	林 勇作 様
朝原 史子 様	佐藤 美子 様	田中 裕一 様	水島 喜代美 様	丸山 晋 様
市川 智也 様	八田 雅子 様	谷口 龍一 様	松井 美千代 様	岡本 渉 様
大坪 一夫 様	KENENTH A JONES 様	ローゼンフェルド 朋子 様	他多数	

※ 許可いただいている方のみ掲載

日頃よりご支援・ご協力いただいております皆様に 心より感謝申し上げます



○ 寄付金の募集 ○

皆様からいただきました寄付金は、当プロジェクトの支援対象者へのサポートや事業の運営に使用させていただきます。皆様からのご支援を有意義なものとするべく、事務局が一丸となって事業の運営を進めて参ります。また、当プロジェクトへのご寄付は、寄付金控除や損金算入の対象となります。詳しくは、以下の『寄付による控除について』をご参照ください。



○ 寄付物品の募集 ○

皆様からいただきました寄付物品は、当プロジェクトにて支援対象となっているご家庭に子ども宅食の配送品としてお届けさせていただきます。お米やお菓子類等、一品でも多くの食料品等をご利用者さんにお届けすべく、皆様のご支援をお待ちしております。ただし、食料品のご寄付の場合、賞味期限等一定の条件（※注1）がございますので、ご了承ください。



○ ボランティア登録者の募集 ○

当プロジェクトでは、随時ボランティアのご登録者を募集しております。ボランティアの皆さんには、子ども宅食の梱包作業の際に、ご利用者さんにお届けする各商品の梱包のお手伝いをしていただきます。各ボランティアへの参加申込に関しましては、登録者の皆様に随時配信させていただきますので、ご都合の宜しい際には、皆で一緒に達成感と爽快感を感じてみませんか？



※注1）食料品のご寄付の場合、賞味（消費）期限が45日以上残っているものであり、常温での保存が可能なものに限らせていただいております。ご不明な点等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

寄付による控除について

○当プロジェクトを運営しておりますあだち福祉会は、所得税法施行令第217条に規定される法人であるため、個人の納税者が当プロジェクトに対して寄付金を支出した場合、『寄付金控除』を受けることができます。その限度額等の詳細は、以下の国税庁による案内をご参照ください。

○当プロジェクトを運営しておりますあだち福祉会は、所得税法施行令第217条に規定される法人であるため、法人が当プロジェクトに対して寄付金を支出した場合、一定の限度額までを『損金算入』することができます。その限度額の計算方法等の詳細は、以下の国税庁による案内をご参照ください。

国税庁ホームページ
~ National Tax Agency ~

https://www.nta.go.jp/publication/pamph/koho/kurashi/html/04_3.htm



お問い合わせ先

(福) あだち福祉会 京都子ども宅食プロジェクト事務局

〒604-0832 京都市中京区間之町通二条下る鍵屋町471 あだちほいくえん3F

TEL 080-4942-3179 FAX 075-221-7588

E-mail support@kyoto-kodomotakushoku.com

URL <https://kyoto-kodomotakushoku.com>



受付時間 9:30 ~ 17:00 (土日祝日を除く)